

	旧	新
表紙	令和 7 年度修正	令和 8 年度修正
目次	第 1 0 大雨警報・大雨注意報等基準等	第 1 0 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表
114	水防団待機水位（指定水位）に達し氾濫注意水位（警戒水位）を越えるおそれがあるとき。	水防団待機水位（指定水位）に達し氾濫注意水位（レベル2水位）を越えるおそれがあるとき。
	氾濫注意水位（警戒水位）を越えるおそれがあるとき。	氾濫注意水位（レベル2水位）を越えるおそれがあるとき。
	氾濫警戒情報が発表されたり、すでに氾濫注意水位（警戒水位）を越えて災害の起こるおそれがあるとき。	レベル3 氾濫警報が発表されたり、すでに氾濫注意水位（レベル2水位）を越えて災害の起こるおそれがあるとき。
	氾濫注意水位（警戒水位）以下に下がったとき。氾濫注意水位（警戒水位）以上であっても、水防活動を必要とする河川状況でないと判断されたとき。	氾濫注意水位（レベル2水位）以下に下がったとき。氾濫注意水位（レベル2水位）以上であっても、水防活動を必要とする河川状況でないと判断されたとき。
115	第 1 0 大雨警報・大雨注意報等基準等	第 1 0 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表 とし最新の基準に改めた。
121	気象庁は、警報・注意報に先立って注意・警戒を呼びかけたり、警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説したりするために「気象情報」という情報を発表しています。気象情報は、発表する地域によって、全国を対象とする「全般気象情報」、全国を11 に分けた地方予報区を対象とする「地方気象情報」、都道府県（北海道や沖縄県ではさらに細かい単位）を対象とする「府県気象情報」の3 種に分けて発表されます。また、「大雨」「大雪」「暴風」「暴風雪」「高波」「低気圧」「雷」など、現象の種類によって様々な種類の気象情報が発表されています。なお、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する気象情報」が発表されます。また、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したときに、より一層の警戒を呼びかけるときには、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されます。	○警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災情報」を発表します。 ○現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に開設する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。 気象防災速報…極端な現象を速報的に伝える情報 （令和 8 年度出水期～） 気象防災速報（記録的短時間大雨・線状降水帯発生・線状降水帯直前予測） 気象解説情報…現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 （令和 8 年度出水期～） 気象解説情報（線状降水帯半日前予測・台風第○号・大雨）
122	河川の増水やはん濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位又は流量を示した洪水の予報をしており、これを「指定河川洪水予報」といいます。指定河川洪水予報の標題には、はん濫注意情報、はん濫警戒情報、はん濫危険情報、はん濫発生情報の 4 つがあり、河川名を付して「○○川はん濫注意情報」「△△川はん濫警戒情報」のように発表されます。	河川の増水や氾濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位又は流量を示した洪水の予報をしており、これを「指定河川洪水予報」といいます。指定河川洪水予報の標題には、レベル2氾濫注意報、レベル3氾濫警報、レベル4氾濫危険警報、レベル5氾濫発生情報(レベル5氾濫特別警報)の 4 つがあり、河川名を付して「○○川レベル2氾濫注意報」「△△川レベル3 氾濫警報」のように発表されます。
奥付		令和 8 年度 一部修正
	（令和 7 年度修正） 令和 8 年3月発行	（令和 8 年度修正） 令和 8 年 6 月発行